

メッセージアウトライン

ヨハネ13：12~20「あなたがたもするように」

「わたしがあなたがたに何をしたか、わかりますか」(12) イエスはご自分が弟子たちの足を洗われたことの意味を問われた。そしてそのことの意味を今から教えられる。イエスはまず、弟子たちに対して、ご自分がどのような立場にあるのかを明らかにされた。(13)「先生」「主」これらは弟子たちより上の教える立場の者のこと。イエスはこれを否定されなかった。→「わたしはそのような者だからです」

主であり師であるお方が弟子たちの足を洗った。これはまさに謙遜の模範であり、仕えることの模範であり、イエスの弟子たちに対するすばらしい愛の現れである。そしてイエスは、「あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです」と言われる。

(14)

「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです」(15)イエスがなされたことは、弟子たちがお互いに仕え合うための模範であった。そしてそれを実行するためには愛と謙遜が必要なのである。死に至るまで従順に父なる神のみこころに従われたイエスの姿を見よ。→ピ^ル2:3~9 イエスの十字架の死は私たちのための身代わりの死であり、私たちの罪の贖いのためであった。イエスを自分の救い主と信じる者は誰でもこのイエスの謙遜に習う必要がある。

「しもべはその主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさるものではありません」(16) 主であるイエスが謙遜になって弟子たちに仕えられたのなら、その弟子である者はもっと謙遜になって仕え合う必要がある。

「あなたがたがこれらのことを知っているのなら、それを行なうときに、あなたがたは祝福されるのです」(17) ここに祝福に至る道が示されている。それはイエスから聞いたこと、知ったことを実行するということである。単に頭の中の知識として貯えておくだけでなく実行することが大切。謙遜になって他の人に仕えるということを実行するのである。→ヤコブ1:22~25 そしてこれは誰か一人がやればよいことではなく、弟子たち(私たち)全員がなすべきことであり、身に付けるべき生き方なのである。そこに神の国が現れる。この使命を与えられているのが教会である。

最後の晩餐に集まっていた弟子たちの中にはイエスを裏切ろうとしている者がいた。(18)イエスが引用された聖書の箇所は詩篇41:9である。(イエスの時代よりも千年も前に書かれた)このことが確かにイエスにおいて成就するのである。「わたしは、そのことが起こる前に、今あなたがたに話しておきます。そのことが起こったときに、わたしがその人であることをあなたがたが信じるためです」(19) もしイエスが前もってこのことを弟子たちに話しておかれなかったならば、弟子たちはイエスが救い主であるということが分からず信仰をなくしてしまうかもしれない。しかし、イエスがこのように前もって語られたことによって、裏切られ、十字架につけられたこのお方こそ、旧約聖書が約束していた救い主であり、その預言の成就であったということを弟子たちは後で思い出して確信を深めるのである。イエスによって遣わされた者を受け入れる者は、イエスを受け入れる者であり、また父なる神を受け入れる者である。(20)クリスチャンはイエスによってこの世に遣わされている者であることを覚え、イエスの模範に習い、謙遜な者になって、多くの人々をイエスのもとに連れてくる者になろう。